

NO	期末 評価 項目 番号	評価 項目	具 体 的 な 事 業 内 容 と 目 標	確認資料等	4月～6月					7月～9月								
					指定管理者の自己評価			所管課評価		改善プラン		指定管理者の自己評価			所管課評価		改善プラン	
					評価 区分	コ メ ン ト	時 期	内 容	時 期	内 容	評価 区分	コ メ ン ト	時 期	内 容	時 期	内 容		
9		環境配慮	どのような公園資源有効活用事業を行っているか ・伐採木の再利用、剪定枝のクラフト活用・チップ化、落葉・刈草の腐葉土化	現地の確認 定期報告	A ・芝刈り作業で発生した刈カスをツツジの根元などに雑草抑制材などとして敷均詩をしました。 ・園内で発生する枝葉や雑草等を駐車場脇に設置した堆肥ボックス内に処分し堆肥化を図りました。大きな枝幹等は市内の再資源化施設に持ち込み、リサイクルに努めました。 ・七夕飾りのイベントのために園内の竹を利用しました。 ・正門、東門に設置した車止めプランターに園内の植物を一部活用しました。 ・庭園内に生育する梅の実を収穫し、梅ソーダにして提供すること計画した。	B ・発生材については園内処理をし、堆肥化にするなど、適切に実施されている。	無				B ・第1四半期同様、芝刈り作業で発生した刈カスを、ツツジの根元などに雑草抑制材などとして敷均し、枝葉や雑草そして使用済みの茶葉を堆肥ボックスにて堆肥化を行いました。 ・剪定枝や植物の一部を、イベントや園内装飾資材として活用しました。 ・庭園内で採取した梅の葉を、梅ソーダとして提供しました。事前に、飲料水として問題が無いのか放射能測定器で検査したところ、異常は認められませんでした。	B ・除草、剪定作業の発生材については、今後も同様な手法を用いて、管理をすること。	無					
10		環境配慮		現地の確認 書類確認 定期報告	A ・八王子市環境マネジメントシステムを遵守し、コピーやプリントアウト、ゴミの分別等の環境に配慮した行動を実施しました。 ・独自のLAS-Eハンドブックにより、日常業務を実施しました。 ・再生紙等の環境配慮製品を積極的に使用しました。 ・来園者及び都府県利用者へマナールールと貸室利用案内を通して、環境への配慮と協力を呼びかけました。 ・気象条件や利用状況に合わせて、照明のこまめな点灯と消灯、並びにエアコンの温度調整を心がけました。 ・庭園内の落葉や剪定枝、除草した雑草は、設置してある堆肥ボックスを活用し、堆肥化を実施し、堆肥に適さないものは、堆肥化再処理施設へ搬入し、リサイクル処理しました。 ・使用済みの茶葉は、竹林など庭園の肥料として活用しました。	B ・管理者のみならず、利用者に対しても環境配慮に協力をお願いするなど、庭園内全体で取り組み姿勢が向える。	無				A ・園長のエコアクション21の参加報告を受け、庭園作成LAS-Eハンドブックを使用したスタッフ勉強会を8月・9月に計2回行い、再利用・経費削減を再確認しました。 その結果、9月よりコピー両面印刷を徹底し、コピー枚数削減、使用済みファイルの再利用を実施し経費削減を行いました。 削減したコピー枚数は、9月 118枚でした。 ・庭園で採取した梅を、事前に、飲料水として問題が無い放射能測定器を用いて検査し、異常は認められなかったため、梅ソーダとして提供しました。 ・処分氷は、雑草の根元に水の代わりとして与えました。 ・まちなか遊歩道との調和をはかるため、エアコンの温度調整を、気温・風向にも協力をお願いしました。 ・第1四半期同様、落葉や剪定枝、除草した雑草は、堆肥ボックスによる堆肥化を実施しました。	B ・環境配慮に対して多くの取り組みを実施している。その成果がわかる具体的な数字を記載するなど検討すること。	有	第三 四半 期	・両面印刷にしたことにより削減できたコピー一枚数を毎回記載し、月ごとの節約枚数を自己評価に記載いたします。	済		
11		サービス向上・利用者増	要望苦情の処理 ・件数や傾向の推移＝年度別、時期毎 ・迅速性、公正公平性が確保され、適切に処理されているか ・個人情報の扱いは適切か	現地の確認 書類確認 定期報告	A ・基本的に園長または副園長が責任を持って任務にあたりましたが、迅速な対応をしながらも即答することができない場合は、公正公平が確保された上で、八王子市公園課と連絡調整を経て適切に処理しました。 ・個人情報取扱が定められた全てのデータは施設場所へ保護管理し、不要な情報は全てシュレッダー処理しました。 ・スタッフや来園者とのコミュニケーションから様々な要望苦情を受け止め、その内容を記録し、特に留意すべき点についてはスタッフ会議で協議し、適切な対応を行えるようにしました。 ・庭園イベント(6/21)及び貸室利用(利用時)の際には、アンケートを実施し、サービス内容に反映していききました。 ・前年度の茶会における厨房利用の要望に対しては、利用者にも実査をお願いし、衛生管理上関係者以外厨房内立入禁止を説明し、御理解を頂いた上で利用をお願いしました。	B ・毎月に苦情件数、対応が不可能な案件について、今後毎期報告をすること。	有	第二 四半 期より			済	A ・第1四半期については、要望8件、苦情0件、問合せ11件、謝意8件、公園課に相談した案件0件でした。 ・要望は、交通アクセス貸室利用に関するものでした。アクセスは、FAX送信・電話説明を行い、貸室利用は、事前の実査をお願いし、利用案内・ルールなどの説明を行いました。問合せは、イベント日程、駐車場、貸室利用に関するものでした。行事や施設状況を説明し、特に貸室利用については、事前実査をお願いし、利用上の注意やルールを説明しました。謝意は、庭・建物が高齢らしく、心が安らぐ良い所へ何度も来たし、喫茶でゆっくりできるのが良い、などでした。 ・第二四半期以降については各四半期において報告するようにいたします。	B ・苦情、要望については速やかに対応した。今後も利用者からの声を多く聞き、事業に反映させること。	無				
12		サービス向上・利用者増	利用者満足度調査の実施と反映 ・満足度調査の実施 ・利用者満足度向上会議の開催	現地の確認 書類確認 定期報告	A ・前年度末3月実施(第9回)の、利用者満足度調査データを踏まえ、周囲の雰囲気がかたかく、ゆっくりできたとの声を聴き、スタッフの挨拶、言葉使いを周知させ、より良い憩いの場を提供しました。 ・給茶メニューに、来園者の要望が多かった商品メニューを、市との協議のうえに入れました。 ・市民からの要望であった貸室の土日祝日利用を、公園課及び定例会議の協議の上、7/8月限定と決定し、その予約を、6月から開始しました。6月現在の予約は1件です。 ・平成26年度の利用者満足度調査の実施を、11月、3月と予定しました。	A ・給茶メニューの要望及び貸室の利用日の拡大についてはアンケート等の意見から、積極的な取り組みを行った。このことで来園者数などの様に変化があったか検証し、報告すること。	無				A ・イベント参加者の意向を伺い、ポステイング・園内外掲示の続行を決めました。 ・庭園主催イベントでアンケートを実施した結果、ボサノバとジャズコンサート(8/16)は、回答者32人中大変楽しかった・楽しかったの合計が30人93.8%、また参加したは32人100%で再演を予定されました。 ・秋の鳴く虫の音を愛でる会(9/13)は、回答者30人中大変楽しかった・楽しかったの合計が28人93.3%、また参加したは25人83.3%で実物を見られ良かった。庭園の和の雰囲気合って良かったとの声を頂きました。 ・市民からの要望であった土日祝日の貸室利用を、7・8月に実施しましたが、利用件数は、1件(益教教室)のみでした。12・1月も実施することを決めました。 ・喫茶室メニューとして、利用者から要望のあったソフトクリームを提供しました。抹茶が1番人気でした。 ・平成26年度第1回利用者満足度調査を、11月に実施することを決定しました。	B ・貸室利用の土日利用については速やかに実施したことを評価する。 ・利用者満足度調査は実施後、対応策を含め速やかに報告すること。	有	第4 半 期	・11月実施の利用者満足度調査について、12月のスタッフ会議で集計報告を行い、1月以降のスタッフ会議で分析結果を業務に反映する予定です。	済		
13		サービス向上・利用者増	地域や公園アドプト団体との連携や協働 ・利用者や地域住民との意見交換機会 ・公園アドプト団体の立ち上げ支援 ・防犯・防災対策の実施、地域の祭り・行事への協力	現地の確認 書類確認 定期報告	A ・来園者増をはかるため、クリエイトホール・都市学園大・八王子市観光協会・北ロインフォメーションセンター・各市役所事務所及び支所、各市民センター・各郵便局・京王各駅など20組織団体に庭園パンフレットを手渡し、ご案内を行いました。 ・憩いと鑑賞という庭園目的、欄間などの旧民家(休憩所)の文化財、小仏間所跡・ハイキングルートなどの地域情報等についてお話をし、利用者や地域住民のみならずコミュニケーションをはかりました。 ・八王子市西部地区環境市民会議と共催し、駒木野町会と協賛した、早春の野鳥観察会のスタート場所(駒木野公園)、および解散場所(駒木野庭園)にて、共催者の依頼により、園長が挨拶、広報を行いました。 ・来園者には、挨拶等声掛けを行い、枯山水・水等庭など庭園の案内説明や花々・旧民家についての質問に答えました。 ・園長、副園長、スタッフが救命スタッフとして任に就きました。 ・園長が、防火防災管理責任者の任に就きました。・受付に、救急箱や防災機器等を常備し、広域避難場所、緊急連絡先一覧表、避難経路図、自衛消防組織図を掲示しました。	B ・利用者増に向けたパンフレットの配布等、積極的な取り組みを行った。このことで来園者数などの様に変化があったか検証し、報告すること。	有	第二 半 期以 降			済	A ・主催事業として、ボサノバとジャズの庭園コンサート・秋の鳴く虫の音を愛でる会を実施し、共催事業として、こまぎのフェスティバル(第2会場)に協力し、支援事業として、えきほJR高尾駅コースのスポットの1つとして支援をしました。参加者合計は、618名でした。 主催・共催イベントでは、地元の方皆さんも参加され、アンケート結果及び口頭にて、また参加したい、このようなイベントをたくさん催してほしいとの声が多く寄せられました。したがって、配布を続行する予定です。今後アンケート項目に庭園パンフレットを見たことがあるか、を追加する予定です。 ・庭園に合ったアドプト団体の有り方(例えば庭園ガイド)について、検討準備をすることを考えています。	B ・様々な自主事業によって利用者増に向けた努力が伺える。 ・標題に記載のある3項目について今期の対応を改善プランに記載すること。	有	直 に	・地域へのポステイング・各種イベント・日常の会話を通して、地域の方々と庭園の状況・要望などの話しを行い意見交換をしました。 ・アドプト団体は、例えば庭園ガイドなど庭園にあつた形を検討中です。 ・地域の行事については、10月に小仏から高尾駒木野庭園(解散地)一面長による園説明)までの西部地区環境市民会議主催の地域宝掘り起し(散策会)に参加する予定です。	済	
14		サービス向上・利用者増	自主事業の取り組み ・体験学習事業・モリアオガエル生態観察会、オリジナル七夕飾りイベント、観月会、庭師養成講座、マツ管つり見学会、ミミ松づくり ・市民参加型アート活動育成事業	現地の確認 書類確認 定期報告	A ・モリアオガエルの生態観察会をアンケートと合わせて実施しました。 ・七夕イベント装飾りを実施し、外国人も短冊を書きました。 ・端午の節句に合わせて益教協会の協力により、受付大広間に鯉兜を設置しました。 ・本年度も、受付大広間にモニターを設置し、利用者好評な庭園内に咲く花々の画像をスライド形式で映し出しました。 ・高橋に合わせた七夕を、旗幟、掛け軸等を設置しました。 ・日本益教協会八王子支部支部長の厚意により、旧民家内の床の間等に季節の盆栽や水石が定期的に入れ替えました。 ・市民参加型アート活動を支援するため、絵画個展、絵手紙展を実施し、813人の来園者がありました。。	B ・七夕イベントは年度計画書ではオリジナルのイベントとの計画であるが、どのような事を実施したのか、詳細を改善プランに記載願いたい。	有	第二 半 期			済	A ・主催事業2件、共催事業1件、支援事業2件を実施しました。 ・(主催)ボサノバとジャズの庭園コンサートを、地域の方々と庭園を知っていただくを考え、実施しました。再演を望む声が口頭やアンケートを通して多数ありました。 ・(主催)講師の都合により、実施日が中秋の名月後となったため、秋の鳴く虫の音を愛でる会となりました。アンケートの結果、虫の生態観察・鑑賞が楽しいとの声を頂きました。 ・(共催)駒木野町の依頼により、こまぎのフェスティバルの第2会場として、呉島ふるまきなどの二人展、野外でのジャズ演奏を催し、共催者として協力支援をしました。口頭にて、大人の雰囲気でも良かったとの声を頂きました。 ・(支援)JR高尾駅の依頼により、えきほJR高尾駅コースのスポットの1つとして、ポスター掲示、記念として先着50名模写モリアオガエルポストカード1枚進呈など協力支援をしました。	B ・今期は多くの自主事業に取り組んだ。特にボサノバとジャズコンサートは年度計画外の事業であったが、参加者からの評価は高く、開催にあたり、事前告知のポスター、パンフレット等を関係各所に掲示、配布するなど取り組みの強化が伺えた。	無				
15		サービス向上・利用者増	広報(情報発信) ・多様な手段で公園の情報提供を行っているか ・ホームページの開設 ・イベント情報の広報掲載、チラシ配布 ・広告宣伝に関する施策 ・利用促進に関する施策	ヒアリング 書類確認 定期報告	A ・庭園パンフレットを、クリエイトホール・都市学園大・八王子市観光協会・北ロインフォメーションセンター・各市役所事務所及び支所、各市民センター・各郵便局・京王各駅など20組織団体に庭園パンフレットを手渡し広報活動を行いました。 ・スタッフブログにより、庭園の様子を定期的に発信しました。 ・イベント情報を園内及びホームページで随時更新し広報掲載しました。イベントポスターも園内・関係者に報告をしました。 ・ホームページのアクセス解析を導入し、PDCAサイクルを行いました。 ・庭園内行為許可の情報をHPに更新しました。 ・貸室利用案内の英語訳・中国語訳・韓国語訳を旧民家内常備しました。 ・外国人の来園者には、翻訳案内書を使い、説明ガイドを行いました。 ・昨年度作成した花暦を更新プリントし受付前に常備しました。	B ・情報発信については適切な管理が行われている。特にHPは更新頻度を昨年より上に行っており、内容もその時期にあつた情報提供を行っている。	無				B ・ホームページを随時更新し、イベント情報・庭園情報を発信しました。アクセス件数 合計2850件 ・庭園パンフレットを、八王子市観光協会・中央図書館・高尾登山電鉄・浅川事務尾・横山事務所などや、地域へのポステイングを通して、合計2170部を配布しました。 ・イベントポスターを、JR高尾駅構内、浅川市民センター、高尾登山電鉄、駒木野公園、近郊店舗に掲示しました。 ・以上との結果市内外からは、庭園への交通手段など、地域からは、イベント情報の問い合わせがあり、関心が高まったためかイベント参加者が少しずつ増えてきました。 今後、庭園パンフレットの効果を検証するため、アンケート項目にパンフレットを見たことがありますか、どのような場所で見ましたかなどを記載することを検討する予定です。	B ・HPの内容については、駒木野庭園らしい内容である。特に庭園豆知識は庭園内にある多くの動植物を季節に合わせた趣がある内容である。 ・各イベント時のパンフレット、ポスターの配布が多く実施されている。その結果イベントの参加者の増加したとの事だが、今後のためにも原因を分析し、配布数、場所、方法が適正であるか検証すること。	無					
16		安全安心・危機管理	建物管理 ・点検チェックシートを作成し、毎日点検をしているか ・雨戸等を適切に開閉しているか ・床・畳の清掃を適切に実施しているか ・ガラス戸の清掃を適切に実施しているか ・トイレの清掃・管理を適切に実施しているか ・台所等の衛生管理は適切か	ヒアリング 書類確認 定期報告	A ・点検チェックシートにより毎日館内点検を実施しました。更に、毎月末、園長、副園長により建物の定期点検を実施しました。 ・6月に大雪が原因で損傷した種の修繕工事を行いました。 ・雨戸・窓の開閉を適切に行いました。台風に対しては、適宜雨戸を閉める等対応し、迅速に公園課へ関係者に報告をしました。 ・清掃マニュアルにより、日常清掃・定期清掃を行い、床・畳・ガラス戸そしてトイレなどの清掃を適切に実施しました。 ・食品衛生責任者の指示に従い、厨房衛生清掃点検表により台所清掃・食品管理等の衛生管理を適切に実施しました。 ・食中毒予防の為、温度計により適正状態を保ち厨房内管理を行いました。	B ・点検シートに基づき適正な管理が行われている。今後も同様な管理に努めること。	無				B ・第1四半期同様、点検チェックシート点検を実施しました。 ・大玄関入り口のセンサーが脱落したため、警備会社の指導により、適切な補修に付け替えました。 ・雨戸・窓の開閉を日常業務として適切に行いました。 ・第三者委託(市内福祉団体)による館内の定期清掃を、4回実施しました。 ・食中毒を防止するため、毎日の手洗い、清掃を実施しました。 ・はちおうじまちなか遊歩道として、館内冷房を実施しました。	B ・入ロセンサーについては、現地確認をした結果、適正な配置を行っている。 ・第三者委託による定期清掃は今後も有効に活用をすること。	無					

施設名:高尾駒木野庭園

NO.	期末モニタリング番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と目標	10月～12月					1月～3月												
					指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン		指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン		所管課確認					
					評価区分	コメント	評価区分	コメント	時期	内容	評価区分	コメント	時期	内容	評価区分	内容	対応					
1			安全安心・危機管理	個人情報の保護管理 ・部屋貸し利用者の情報管理は、適切に行われているか ・要望苦情者の記録保存は適正か	A	・第2四半期同様、部屋貸し利用者、個人情報及び重要書類などは、2階事務所の施設可能なデスクの引き出しに保管しました。 ・第2四半期同様、個人情報のパソコンによるパスワード管理を行い、関係ファイル及びデータの事務所外への持ち出し厳禁を続行しました。 ・要望苦情問合せなどの記録は、一覧にまとめ、パスワード管理を行いました。 第3四半期は、要望1件、苦情1件、問合せ14件、謝意4件でした。	B	・今後も同様な管理を実施すること。	無					A	・第3四半期同様、部屋貸し利用者、個人情報及び重要書類などは、継続的に2階事務所の施設可能なデスクの引き出しに保管しました。 ・個人情報に関するファイル及びデータの事務所外への持ち出し厳禁を続行しました。 ・要望苦情問合せなどの記録一覧ファイルは、施設デスクに保管しました。 ・第4四半期は、要望0件、苦情0件、問合せ96件、謝意2件でした。	B	・適切に管理された。	無				
2			安全安心・危機管理	利用者への対応 ・利用案内等を適切に行っているか ・条例規則、利用ルールやマナーに反する者に対し、適切に注意・指導を実施しているか	B	・利用者の便宜をはかるために、駐車場案内看板の立案・デザイン設計を行いました。第4四半期に公園課と相談の上設置する予定です。 ・貸室や庭園の利用案内及びマナーの改訂を検討しました。第4四半期からの実施予定で、利用者の利便性を踏まえスタッフ会議で討議し、作成準備をしました。今後も、より良い利用案内を作成するために改訂を行う予定です。 ・鯉の餌やり・庭内の犬の散歩・自転車侵入などのルール違反に対しては、スタッフが口頭でルール説明を行い中止して頂きました。 ・イベント開催や整備工事については、お知らせを事前に各門・民家内の掲示、各事務所や市民センターなどの公共機関のポスター・チラシ配布、ホームページの掲載などの案内を行い、周知させました。 ・樋の改修工事に際しては、安全をはかるために、周囲に案内を掲示しました。 ・10月6日(月)、台風のため、公園課への事前連絡に基づき開園から12時まで閉園とし、天候の回復が認められたため、公園課への連絡の後、12時から開園しました。	B	・園内での利用マナーについては、スタッフが常駐している利点を活かし、きめ細かな対応を行っている。 ・整備工事等の事前周知は今後も同様に適切に実施していくこと。	無					A	・公園課と相談の上、利用者の便宜をはかるために、アート多摩の芸術性と技術力を生かし、庭園の良さを引き出しかつ調和を図る駐車場案内看板・イベントなどの情報提示看板を各門に、庭園看板を庭園道路沿いに設置し、小仏バス停道路沿いの庭園図を見やすい新しいものに取り換えました。 ・利用者の利便性を踏まえ利用案内の改訂について、より良い利用案内を作成するため、さらにスタッフ会議で討議を続行することになりました。 ・貸室利用については、利用目的を伺い、利用ルールにつき納得頂けるように説明を行いました。 ・鯉の餌やり・園内の犬の散歩などのルール違反に対しては、スタッフが口頭でルール説明を行い中止して頂きました。 また、再発防止のため、注意の看板を設置しました。	A	・園内での利用マナーについては、スタッフが常駐している利点を活かし、きめ細かな対応を行っている。 ・看板に関して、庭園の雰囲気と調和を損なわないデザインのものがあることを評価する。	無				
3			安全安心・危機管理	池の点検 ・日常の点検はマニュアルなどを作成して実施しているか ・転落等の危険予防のために周知や利用指導を行っているか ・日常点検後の軽微な修繕についてどのようなものがあり、実施しているか	A	・第1、第2四半期同様、安全・維持管理マニュアルを基に日々園内の巡回・点検を実施し、計画的な維持管理作業を実施しました。 ・モリアオガエルが生息する旧民家前にある溜池には、水を継続的に補充し、水位を継続的に観察しました。 ・同じ溜池には、秋から多くなった浮遊落葉の除去を日常管理作業に加えました。また、溜池の堆積物を網ですくい渡しました。 ・心字池の水深、ろ過機の定期点検、清掃を実施しました。 ・同時にろ過ポンプ機の潤滑等、電気検査を実施しました。 ・池周辺において、植栽環境として不適地並びに庭園利用者による踏圧の影響で一部裸地化している場所があり、植栽環境並びに機能を満たした樹種での補植を検討しています。	B	・今後も同様な管理を実施すること。	無					A	・各四半期同様、安全・維持管理マニュアルを基に日々園内の巡回・点検を実施し、計画的な維持管理作業を実施しました。 ・モリアオガエルが生息する旧民家前にある溜池には、水を継続的に補充し、水位を継続的に観察し、日常管理作業として浮遊落葉の除去をしました。 ・心字池の掃除、ろ過機等池設備の定期点検を実施しました。 ・ろ過ポンプの第4四半期での切断は、継続的点検により確認されず、漏電による原因は考えられないことから、現在チャッキ弁の保温対策を検討しています。 ・池周辺で踏圧により裸地化している場所(主に藤棚周辺)に、利用者の立ち入り防止策として低木を補植しました。なお樹木は、庭園内に以前植栽した東京都供給樹の余剰分を仮植栽しているものを使用しました。その結果、コスト削減も図ることができました。 ・餌やり禁止の看板を設置しました。	B	・池周辺の裸地に補植が実施された。	無				
4			安全安心・危機管理	植栽の管理 ・立ち枯れ、枝折れの危険や外観を損なうような樹木、枝は放置していないか ・中高木の管理は適切に管理できているか ・低木の剪定は適切にできているか	A	・景観形成に沿った草木の管理を行いました。 ・枯れ枝、折れ枝等は、日々巡回点検を行い見つけ次第速やかに除去しました。 ・庭園管理作業中に、庭園利用者の安全確保から、立て看板やバリエードを用いるなどの安全対策を実施しました。 ・台風襲来に備え事前の確認を行うとともに、通過後も確認を行い、速やかに八王子市に報告をしました。 ・防雪と伝統的な景観の再現を兼ね、マツの雪吊りを行いました。同時に病害虫防除のため、マツにコモ巻きをしました。 ・防寒のため、ソテツ・ボタンに冬囲いをしました。 ・ハギの枝を落葉後に刈り取りました。 ・中低木内に落ち、散乱しているモミジやイチヨウなどの葉を除去しました。 ・茶庭のセンリョウ・ヤブコウジは寒さで葉やけをするので、夜間、防寒のため開園から開園前まで、コモをかけました。	A	・管理者が持っているノウハウを有効に発揮し、冬季に向けた植栽管理が適正に行われている。	無					A	・景観形成に沿った草木の管理を行いました。 ・枯れ枝、折れ枝等は、日々巡回点検を行い、見つけ次第速やかに除去しました。 ・庭園管理作業中に、庭園利用者の安全確保から、立て看板やバリエードを用いるなどの安全対策を実施しました。 ・啓蒙に合わせマツの雪吊り・コモ巻き、ソテツ・ボタンの冬囲いを撤去しました。(3月7日) ・茶庭のセンリョウ・ヤブコウジは寒さで葉やけをするので、夜間、防寒のため開園から開園前まで、コモをかけました。(3月6日まで) ・低木・モミジ等を奥側オオムラサキツツジと高さを合わせるため、剪定しました。 ・積雪後、雪害による植物の転倒や枝折れがないか植栽の状況をチェックしました。 ・芝生の施肥と目土かけを実施しました。	A	・今期についても植栽管理は、専門知識を有効に活用し、適正な管理が実施された。	無				
5			安全安心・危機管理	庭園施設管理 ・点検チェックシートを作成し、毎日点検をしているか ・園路、石置、飛石、土系舗装地の清掃・水打ちをしているか ・塀、垣の点検・補修を行っているか ・枯山水の点検・清掃・砂紋つけを適切に実施しているか ・露地の点検・清掃・手水鉢の管理を適切に実施しているか ・盆栽展示場の点検・清掃をしているか	A	・第1・2四半期同様、庭園維持管理業務を基に日々園内の巡回・点検し、計画的な維持管理を適宜行いました。また、定期点検(月1回)も実施し、安全点検報告を作成しました。 ・園路、石置、飛石、土系舗装とも、日々打ち水を行いました。(雨天は除く)、10月のみ、11・12月は凍結の恐れから、中止しました。降雨の翌朝、北側園路で凍結があり、看板を立て注意をかきしました。 ・塀、垣根とも日々巡回点検を行いました。 ・枯山水の点検清掃及び砂紋つけも日々計画的に行いました。 ・枯山水灌漑に白玉石を敷き並べ上部の景を演出しました。 ・露地の点検・清掃・手水鉢の管理も日々の業務において適切に管理を実施しました。 ・盆栽の灌水や消毒も含め展示場、盆栽棚の点検・清掃とも日々計画的に維持管理を行いました。 ・駐車場の車止め柵は、開園時中庭園利用者の障害にならないよう日々ストックヤード内に運びました。	A	・紅葉の時期で来園者が多い中、庭園の施設をきめ細やかな管理、演出を行う努力、来園者の満足度を高めようとする意気込みが感じられる。	無					A	・各四半期同様、庭園維持管理業務を基に日々園内の巡回・点検し、計画的な維持管理を適宜行いました。また、定期点検(月1回)も実施し、安全点検報告を作成しました。 ・園路、石置、飛石、土系舗装とも、日々清掃しました。なお打ち水は、凍結の恐れから、中止しました。 ・積雪後、園路及び駐車場の雪かきをしました。合わせて積雪凍結の看板を立て注意を喚起しました。 ・塀、垣根とも日々巡回点検を行いました。 ・枯山水の点検清掃及び砂紋つけも日々計画的に行いました。 ・露地の点検・清掃・手水鉢の管理も日々の業務において適切に管理を実施しました。 ・盆栽の灌水や消毒も含め展示場、盆栽棚の点検・清掃とも日々計画的に維持管理を行いました。 ・駐車場の車止め柵は、開園時中庭園利用者の障害にならないよう日々ストックヤード内に運びました。	A	・庭園管理については日々の管理が行き届いており、来園者の目を楽しませている。経験豊富なスタッフによって、しっかりとした管理が行われている。	無				
6			効果効率的な施設の管理運営	人員配置・研修体制 ・事業運営を計画に沿った体制で実施しているか。計画通りの人員スタッフが確保されているか ・執行体制に工夫はみられるか ・スタッフ研修は充実しているか	A	・スタッフ会議での討議に基づき、利用者の便宜を図るため、貸室利用案内の改訂準備を行いました。 ・いちよう祭りに対して、スタッフを2人体制にし、2日間の来園者1,885人に対応しました。また松の雪吊り見学会においても2人配置し、スタッフ増員により、イベント対応を行いました。 ・スタッフ増員による、スタッフ増員の見学会やいちよう祭りに対しての報告・反省、貸室利用案内の改訂、駐車場案内看板などにつき討議しました。さらに防災訓練を行い緊急時の対応を確認しました。また、作成した拾得物マニュアルの解説を行い、手続き・対応・派出所との連携などの周知を図りました。 ・構成団体による代表者研修を3回行い、イベント・駐車場案内看板などスタッフ研修の報告およびその対応、来園者増の策などを討議しました。 ・拾得物マニュアル・拾得物預り書様式・拾得物物件一覧簿を作成しました。	A	・規模の大きなイベントはスタッフを増員させるなど、臨機応変に対応が行われた。 ・研修はスタッフ、代表者研修を実施しており、内容が今後について活かされるよう検討すること。(内部の決定事項、園長へのサポート、業務の範囲等) ・拾得物マニュアル・拾得物預り書様式・拾得物物件一覧簿が作成されたことを評価する。	無					A	・うめ祭り(3/14・15)対策として、スタッフを2人体制にし、2日間の来園者1,885人に対応しました。 ・スタッフ研修を3回行い、避難消防訓練(2/3)による緊急時の対応の研修、うめ祭り対応・貸室利用案内の改訂などの討議を行いました。 ・構成団体による代表者研修を3回行い、うめ祭り対応・駐車場案内看板設置・防災避難訓練などスタッフ研修の報告を受けその検討を行いました。また新年度の事業計画について検討しました。 その結果については、朝礼・夕礼にてスタッフに示達しました。 ・園長が、更新救命講習会(3/8)を受講し、AED操作などその内容をスタッフ及び代表者研修にて報告しました。	B	・人員配置・研修体制は適正に行われている。 ・規模の大きなイベントはスタッフを増員させるなど、臨機応変に対応が行われた。	無				
7			安全安心・危機管理	除草 ・作業時期は適正か ・現地での要望には対応できたか。(要望の有、無の場合は内容と対応も記入願います。) ・現地の実態はきれいか ・駐車場の除草はされているか	A	・第1・2四半期同様、庭園維持管理業務を基に日々の状況を巡回・点検しました。 ・園内の除草は、10・11月週2回、12月週1回人力除草で行い、駐車場の各担当者、委託契約相互に協力し、管理運営を適切に行いました。 ・10月1日(日)、(11・12月は無し)機械を用いて適正な除草を行いました。 ・駐車場外周方面においては、草丈を考慮した刈込みを行いました。 ・肩掛け式刈払い機による作業は、機械の回転を低速で行い、飛散防止用ネットなどを用いて作業しました。	B	・今後も同様な管理を実施すること。	無					A	・各四半期同様、庭園維持管理業務を基に日々の状況を巡回・点検しました。 ・庭園維持管理業務を基に日々除草しました。 ・第4四半期においては、週1回庭園内外の除草を集中的に行いました。	B	・冬場においても定期的な除草が行われていることを評価する。	無				
8			効果効率的な施設の管理運営	第三者委託 ・市との事前の協議など、協定書通りの執行がなされているか ・第三者委託の事業水準は適正か ・経費削減の取り組みや工夫はみられるか ・全日本錦鯉振興会東京支部及び社団法人日本盆栽協会八王子支部との委託契約は適切に行われているか	A	・第2四半期同様、市との事前協議等を協定書通り執行しました。 ・夜間の旧民家(休憩所)の安全管理は、警備会社へ委託し、室内定期清掃は、専門性と福祉貢献の観点から市内の障害者団体へ委託し(4回実施)、経費削減に取り組みしました。 ・全日本錦鯉振興会東京支部及び社団法人日本盆栽協会八王子支部の各担当者と、委託契約通り相互に協力し、管理運営を適切に行いました。 ・台風接近前に盆裁の落下・飛散等ないよう、日本盆栽協会八王子支部長と連絡を取り、台風対策を実施しました。 ・同じ対策として、冷たい北風にあてないために、一部盆栽を、バックヤードへ移動しました。 ・全日本錦鯉振興会東京支部と連絡調整を行い、定期点検・心字池の渡漑を行いました。	B	・今後も委託先に対し適正に指導を実施すること。	無					A	・市との事前協議等を協定書通り執行しました。 ・第2四半期同様、その専門性に基づき、昇降機点検は昇降機会社に(1回)、消火器・警報機の点検は防災協働会社(1回)、夜間の旧民家(休憩所)の安全管理は警備会社へ委託し、室内定期清掃は、福祉貢献の観点から市内の障害者団体へ委託(4回)しました。適正に実施されました。 ・全日本錦鯉振興会東京支部及び社団法人日本盆栽協会八王子支部の各担当者と協力し、委託契約を遵守し、管理運営を適切に行いました。 また、予算削減について協議しています。 ・日本盆栽協会八王子支部長と協働し、管理業務防衛策として、冷たい北風にあてないために、一部盆栽を、バックヤードへ移動し、3月2日にもどしました。 冬期協働作業として石灰硫黄合剤を散布しました。 ・全日本錦鯉振興会東京支部と連絡調整を行い、定期点検(2回)を行いました。	B	・第三者委託業務は適正に執行された。	無				

施設名:高尾駒木野庭園

評価区分 A:目標や計画を上回る成果があったもの B:目標や計画どおりの成果があったもの C:目標や計画を下回っており、努力が必要なもの

NO	期末 モニタ リング 項目 番号	評 価 月	評 価 項 目	具 体 的 な 事 業 内 容 と 目 標 ・ 指 標	所 管 課 年 間 評 価		MEMO
					評 価 区 分	コ メ ン ト	
1			安全安心・危機管理	個人情報の保護管理 ・部属貸し利用者の情報管理は、適切に行われているか ・要望苦情者の記録保存は適正か	B	・年間を通じて適切に管理された。	
2			安全安心・危機管理	利用者への対応 ・利用案内等を適切に行っているか ・条例規則、利用ルールやマナーに反する者に対し、適切に注意・指導を実施しているか	B	・利用案内及び利用指導については、常駐スタッフ及び看板等にて適切に実施されている。	
3			安全安心・危機管理	池の点検 ・日常の点検はマニュアルなどを作成して実施しているか ・転落等の危険予防のために周知や利用指導を行っているか ・日常点検後の軽微な修繕についてどのようなものがあり、実施しているか	B	・ろ過装置の管理業務は適切に行われた。また、池周辺の立ち入りに対する対策が実施された。	
4			安全安心・危機管理	植栽の管理 ・立ち枯れ、枝折れの危険や外観を損なうような樹木、枝は放置していないか ・中高木の管理は適切に管理できているか ・低木の剪定は適切にできているか	B	・日本庭園の植栽として十分に管理された。その上で、冬の防寒対策など仕様以上の作業が実施されている。	
5			安全安心・危機管理	庭園施設管理 ・点検チェックシートを作成し、毎日点検をしているか ・園路、石畳、飛石、土系舗装地の清掃・水打ちをしているか ・塀、垣の点検・補修を行っているか ・枯山水の点検・清掃・砂紋つけを適切に実施しているか ・露地の点検・清掃・手水鉢の管理を適切に実施しているか ・盆栽展示場の点検・清掃をしているか	A	・庭園管理については、経験豊富なスタッフによって、しっかりとした管理が行なわれた。	
6			効果効率的な施設の管理運営	人員配置・研修体制 ・事業運営を計画に沿った体制で実施しているか。計画通りの人員スタッフが確保されているか ・執行体制に工夫はみられるか ・スタッフ研修は充実しているか	A	・人員配置・研修体制は適正に行われている。	
7			安全安心・危機管理	除草 ・作業時期は適正か ・現地での要望には対応できたか。(要望の有無、有の場合は内容と対応も記入願います。) ・現地の実態はきれいか ・駐車場の除草はされているか	A	・年間を通じて適切に除草作業が実施された。	
8			効果効率的な施設の管理運営	第三者委託 ・市との事前の協議など、協定書通りの執行がなされているか ・第三者委託の事業水準は適正か ・経費削減の取り組みや工夫はみられるか ・全日本鉢懸振興会東京支部及び社団法人日本盆栽協会八王子支部との委託契約は適切に行われているか	B	・第三者委託業務は適正に執行された。また、委託先である盆栽協会と綿密な意思疎通がなされ、管理運営に反映している。	

NO.	期末モニタリング計画番号	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	所 管 課 年 間 評 価		MEMO
				評価区分	コメン	
9		環境配慮	<ul style="list-style-type: none"> どのような公園資源有効活用事業を行っているか ・伐採木の再利用・剪定枝のクラフト活用・チップ化、落葉・刈草の腐葉土化 	B	・発生材については園内処理をし、堆肥や部材として再利用するなど、適切に実施された。	
10		環境配慮		B	・環境配慮に対して多くの取り組みを実施している。	
11		サービス向上・利用者増	要望苦情の処理 <ul style="list-style-type: none"> ・件数や傾向の推移＝年度別、時期毎 ・迅速性、公正公平性が確保され、適切に処理されているか ・個人情報扱いは適切か 	B	・要望苦情に対しては適切に処理されている。	
12		サービス向上・利用者増	利用者満足度調査の実施と反映 <ul style="list-style-type: none"> ・満足度調査の実施 ・利用者満足度向上会議の開催 	B	・年間2回の調査が行われ、調査ごとに利用者満足度向上会議が開催されている。その結果を業務に反映しており、一定の成果がある。	
13		サービス向上・利用者増	地域や公園アドプト団体との連携や協働 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者や地域住民との意見交換機会 ・公園アドプト団体の立ち上げ支援 ・防犯・防災対策の実施、地域の祭り・行事への協力 	B	・地域の祭りや行事には積極的に参加している。防災に対する取り組みが実施されている。利用者増へ向けて、周辺へパンフレット等を配布している。	
14		サービス向上・利用者増	自主事業の取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・体験学習事業モリアオガエル生態観察会、オリジナル七夕飾りイベント、観月会、庭師養成講座、マツ雪つり見学会、ミニ門松づくり ・市民参加型アート活動育成事業 	A	・自主事業は18件実施され、うちわけは主催7件・共催5件・支援6件であった。なお、事業計画に記載のある7件のイベントのうち6件が主催として実施され、1件が共催として実施された。	
15		サービス向上・利用者増	広報(情報発信) <ul style="list-style-type: none"> ・多様な手段で公園の情報提供を行っているか ・ホームページの開設 ・イベント情報の広報掲載、チラシ配布 ・広告宣伝に関する施策 ・利用促進に関する施策 	A	・パンフレット配布、ポスター配布など多様な手段で公園の情報提供を行っている。また、ホームページ更新頻度を昨年以上に行っており、内容もその時期にあった情報提供を行っている。	
16		安全安心・危機管理	建物管理 <ul style="list-style-type: none"> ・点検チェックシートを作成し、毎日点検をしているか ・雨戸等を適切に開閉しているか ・床・畳の清掃を適切に実施しているか ・ガラス戸の清掃を適切に実施しているか ・トイレの清掃・管理を適切に実施しているか ・台所等の衛生管理は適切か 	B	・建物、設備の点検や清掃が適正に行われた。	